

第100回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 令和3年9月27日（月） 13:30～15:15

場 所 神戸大学本部 大会議室 及び WEB（Webex使用）

出席者 藤澤議長（学長）、
新井委員、金子委員、斉藤委員、坂井委員、坂田委員、佐藤委員、
高土委員、寺島委員、平尾委員、木戸委員、大村委員、河端委員、
奥村委員、中村委員、吉田委員、上野委員

（オブザーバー）外村監事、林監事、松尾副学長、喜多副学長、眞庭副学長、
西谷国際文化学研究科長、南経営学研究科長、
大川システム情報学研究科長、南医学研究科長

欠席者 齋藤委員、久元委員、中尾委員

議事要録について

第97回、第98回及び第99回経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、役員会として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明があった。

審議事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

- 1 令和3年人事院勧告について
令和3年の人事院勧告の概要及び本学における対応案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 2 地域連携推進組織の見直しについて
地域連携推進室を拡大強化し、地域連携推進本部を設置することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
 - 地域連携推進本部を設置することによって地域連携にかかるニーズをどのように把握していくのか？また、地域連携に関わる生涯教育について、今まで部局ではどの程度取り組んでいて、地域連携推進本部が設置されることによりどのように変わるのか？
 - 本学は、阪神・淡路大震災以降の地域連携の基盤があり、また、毎年一度開催する地域連携推進連絡協議会、COC+事業に関わる企業や自治体などと活発な意見交換を行い、地域のニーズを汲み取り、地域に根ざした活動を行っている。地域連携推進本部が部局の継続的な活動のより良い循環に繋がるよう活動を行っていく。
 - 潜在的な地域連携のニーズを吸い上げる仕組みや継続的なリカレント教育などの視野の拡大が重要である。
 - 地域連携は人手が必要となるが、どのような運営を考えているのか？
 - 各部門の人員配置の検討は必要だが、潜在的な地域連携のニーズを吸い上げられる組織体にしていく。
 - 企業にかかる産官学組織との連携はどのようになっているのか？
 - 地域連携推進本部と産官学連携本部の両方にかかることが多いが、担

当理事間でよく話し合っており、地域連携推進本部は、企業の中の非営利部門とのより一層の連携を考えている。

- 神戸大学のプレゼンスを高める非常に大きな取組なので期待したい。
 - 地域連携推進本部の整備の方向性はよいが、産官学組織との棲み分けをどのようにしていくのかが重要である。
 - 産官学連携本部と地域連携推進本部との棲み分けにより、車の両輪となって地域連携活動を進めていきたい。
 - 地域連携にボランティアをどのように取り込むのか、また、3つの部門がどのように有機的に連携していくのかという視点を持って取り組んでいただきたい。
 - 本学の災害ボランティアは全国的にも重要な役割を果たしてきた。しかしながら、阪神・淡路大震災から26年が経過し、その在り方や学生の気風も変化していることから、組み立て直したいと考えている。
- 3 国立大学法人神戸大学学則の一部改正について
地域連携推進室を廃止し、新たに地域連携推進本部を設置することに伴い、国立大学法人神戸大学学則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 4 国立大学法人ガバナンス・コードについて
国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

報告事項

- 1 令和2事業年度財務諸表の承認について
令和2事業年度の財務諸表について文部科学省より承認があった旨報告があった。
- 2 令和2事業年度 重点支援枠③16大学 財務諸表分析資料について
重点支援枠の1つである重点支援③の対象16大学の財務諸表について報告があった。
- 3 令和4年度概算要求の概要（文部科学省関係予算等）について
令和4年度の概算要求の概要（文部科学省関係予算等）について報告があった
 - WPIに関して、神戸大学が応募されたものが不採択となった理由は何か？
 - 外国人PIのエフォート率、女性研究者の参画などが指摘された。これらは既に学内会議にて報告しており、来年度の申請について検討しているところである。
 - 研究大学としてWPIを持つということはステータスなので、全力を挙げて頑張っていたいただきたい。また、高等教育の修学支援の新しい制度、特に博士課程を対象としたものが随分拡充されているので、神戸大学がそれらを積極的に獲得して、優秀な学生を招き入れることが必要であり、この点も是非よろしく努力をお願いしたい。
 - 博士課程の学生が研究に専念することができる支援事業に全力を挙げて取り組んで参りたい。

- 4 共通政策課題（数理・データサイエンス・AI教育強化分）について
令和4年度の概算要求として要求した共通政策課題（数理・データサイエンス・AI教育強化分）について報告があった。
- 5 第4期中期目標・中期計画について
第4期中期目標・中期計画（素案）等について報告があった。
- 6 大学改革強化推進補助金（コロナ禍を踏まえた取組）について
令和3年度の概算要求として要求した共通政策課題（コロナ禍を踏まえた取組分）が国立大学改革強化推進補助金の対象事業として採択されたことについて報告があった。
- 7 2021（令和3）年度第1四半期資金運用実績報告について
2021（令和3）年度第1四半期資金運用実績報告について報告があった。

◎ 次回は、令和3年11月24日に開催予定。